

国連憲章に違反

ベネズエラ侵略 NO!

世界中から
声をあげよう

南米ベネズエラを攻撃し、大統領を連れ去り、裁判にかける。さらに「ベネズエラを運営する」と公言——アメリカの無法に世界中から強い批判がおこっています。

いかなる理由をつけようと、他国に対して軍事行動をおこない、指導者を拘束・連行する権利は、どの国にも与えられていません。まして、他国を「運営する」などという表明は、新たな植民地支配の宣言であり、絶対に認めるわけにはいきません。

日本共産党は、国連憲章、国際法をふみにじるトランプ政権を強く非難します。拘束者を解放し、無法な行為をただちにやめるよう強く求めます。



ホワイトハウス前で米国によるベネズエラ攻撃に抗議する人たち
=1月3日、ワシントン(柴田菜央撮影)

「力による現状変更はダメ」

日本政府はアメリカに
ハッキリものを言うべきです

高市政権は、アメリカの無法をまったく批判せず、推移を見守るといふ姿勢です。

しかし、アメリカによる国際法を無視した「力による現状変更」を黙認すれば、ロシアや中国の行動を非難する足場をみずから失いかねません。“アメリカいいなり”をやめ、「アメリカは国際法を守れ」「侵略やめろ」とハッキリものを言うべきです。



新春街宣で訴える田村智子委員長
=1月5日、東京・池袋駅東口

日本共産党



2026年1月号外
日刊紙・電子版 月3,497円 日曜版紙・電子版 月990円

発行/日本共産党中央委員会 〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7 TEL 03-3403-6111 FAX 03-5474-8358

人権・平和の国際報道に定評
「しんぶん赤旗」の購読を
申し込みはこちら

